

環境改善型香り発生機 DAA T-50

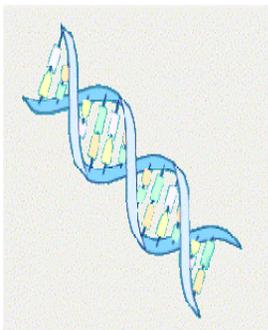


● ● ● 嗅覚の重要性

失われてきた嗅覚

視覚、聴覚に重きを置いた従来のコミュニケーション手法は飽和状態に達していると思われます。嗅覚によるコミュニケーションはこれからの社会の力ギとなるのではないのでしょうか？

ヒトゲノム計画： ヒト遺伝子のDNA配列を解明
アメリカのセレーラジェノミックス社、国際ヒトゲノムプロジェクトチームなどが約3万2000個のヒト遺伝子を同定



視覚に関わる遺伝子： 3 個

味覚に関わる遺伝子： 5 個

嗅覚に関わる遺伝子： 500 から 700 個

(全体の約2% その殆どの遺伝子について機能は未解明)

「ヒト遺伝子の約2%を匂いに関する遺伝子が占めているという。この事実が嗅覚の重要度をそのまま示しているのではないのでしょうか？」

(高田明和 浜松医科大学名誉教授)

● ● ● 環境改善で顧客満足度をアップ

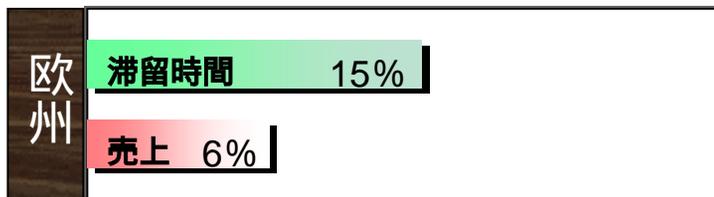
DAAの商品特徴：空間デザイン
(室内をお望みの最適な天然の香りで消臭・制菌・芳香を同時にします)

私たち人間は空間に入室した際、数回の呼吸で無意識にその場所が心地よいか不快かを判断されます。
この事自体が心地よい匂いでお迎えする事による差別化へと繋がります。

環境改善型香り発生機 DAA T-50



米国「香りと行動調査」伸び率・チョコレート販売店舗



欧州香料メーカー調査、伸び率・スポーツ品店

1998年、米国における「香りと行動調査」の結果、店舗で香りを立てることにより、来訪者の平均店舗内滞留時間は29%増加し、一人あたりの購買額が23%増加したことが明らかになりました。

欧州香料メーカーによる店舗における芳香マーケティング調査によると、来訪者の平均店舗内滞留時間は15%増加し、一人あたりの購買額が6%増加したとの結果が報告されました。

● ● ● においについて

環境省の取り組み

不快なにおいを軽減し快適な香りを保護・創造していくために「におい環境指針」を初めて作成し、都道府県を通じて指導・普及に乗り出しています。

大手百貨店バイヤー

「どうしてこんなに男性用の香水が売れているのか分からないのが現状です。」

日刊工業新聞より

大手紳士服メーカー

株式会社アオキインターナショナル（社長：青木擴憲）は、このほど、産学共同研究開発による商品として、信州大学繊維学部繊維システム工学科の西松豊典教授と共同で、アロマセラピー（芳香療法）において緊張感を取り除いて気持ちを落ち着かせる効果があるといわれている「ラベンダー」の香りがするメンズスーツ『癒し 波スーツ』を開発し、本年3月6日（土）から販売いたします。

株式会社アオキインターナショナルHPより

● ● ● 香りが作業効率に及ぼす影響

小学生15人に**香り付きの消しゴム**を嗅ぎながら漢字を覚えてもらう。

まだ習っていない漢字10問を用意。暗記時間は30分。

その後2時間別の授業をした後、先ほどの漢字の記憶をテスト。

香りを嗅がない状態でのテストでの正解率は**75%**。

香り付きの消しゴムを嗅ぎながらテストすると正解率は**83%**。

なんと記憶力が**1割以上アップ！！**

現在香りによる**記憶力向上効果**のさまざまな分野での**応用**が考えられています。



● ● ● 空気清浄機の現状

空気清浄機がタバコ煙に無効な理由

空気清浄機でタバコ煙の粒子相をもし100%除去できたとしても、それはタバコ煙有害物質全体から言えばわずか**3.3%**が除去できるに過ぎません。

ガス相の一部（アセトアルデヒド、窒素酸化物(NOx)、アンモニア、ホルムアルデヒド）も除去でき、きれいな空気になると明記している機種もありますが、これらを100%除去できたとしても、タバコ煙有害物質全体のわずか**8.9%**を占めるに過ぎません。

結局、一酸化炭素やニコチン、ダイオキシンなどタバコ煙の主要な有害物質9割（一部ガス相すら除去できないものは97%）が空気清浄機を素通りし、全く浄化されることなく排気口から周囲に撒き散らされています。

このため空気清浄機は、**タバコの害から100%非喫煙者を守らねばならない受動喫煙対策としては無効であります。**

「分煙のために広く使われている空気清浄機は煙の粒子はかなり除去できているが、一酸化炭素や発がん物質などガス状のものは取れていない」とされ、
「空気清浄機は発がん性物質などの有毒ガスをかえって周囲にまき散らす」と警告している。

厚生労働省の分煙効果判定基準策定検討会（座長 = 内山巖雄・京都大学教授）の報告書より

● ● ● 臭いでストレス

カビ におわなくても脳にストレス

アルファ波 3 割も減少

梅雨時に発生しやすいカビのにおいについては、それに慣れてほとんど感じなくなっても脳にストレスを与えていることが、杏林大学医学部精神神経科の古賀良彦教授らの実験でわかった。高温多湿の時期には、カーテンやソファなど布につくカビからもにおいが出やすい。研究チームは「長時間過ごす居間などで、自覚はなくても、くつろいだ気分が妨げられている可能性がある」としている。

実験は、成人男女10人に、カビのにおいをつけた水と、無臭の蒸留水の入った試験管を、くつろいだ状態で30分間かいてもらい、脳波を記録した。人間は、同じにおいをかぎ続けると数分で慣れ、カビの場合でも、ほとんど自覚しなくなるとされる。しかし、実験の結果、カビ臭をかいた時は、脳のリラックス度を示すアルファ波の出る割合が、参加したほぼ全員で、約3分の2まで減った。蒸留水ではほとんど変化がなかった。

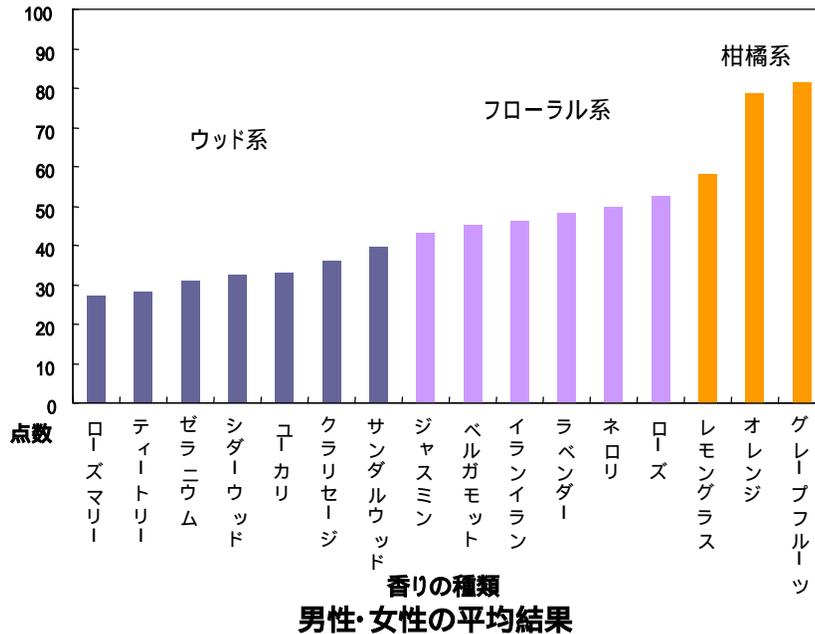
古賀教授は「自覚がなくても、脳はにおいに影響を受けていることが明らか。逆に良い香りなら、ほのかでも緊張をほぐすのに効果があるのではないか」と話している。

(2004年7月8日 読売新聞)

一般論としてのアロマの好み

モニターによるアロマの嗜好性 (大学生男性25名・女性25名)

AROMA RESERCH No.6(Vol.2/No.2 2001)



順位	香りの種類 (女性)	香りの種類 (男性)
1位	グレープフルーツ	グレープフルーツ
2位	オレンジ	オレンジ
3位	ローズ	レモングラス
4位	ネロリ	ラベンダー
5位	レモングラス	ベルガモット
6位	ラベンダー	ローズ
7位	ジャスミン	イランイラン
8位	イランイラン	ネロリ
9位	ベルガモット	ジャスミン
10位	サンダルウッド	サンダルウッド
11位	クラリセージ	クラリセージ
12位	シダーウッド	ユーカリ
13位	ゼラニウム	シダーウッド
14位	ユーカリ	ゼラニウム
15位	ティートリー	ローズマリー
16位	ローズマリー	ティートリー